

報告事項

平成 23 年度事業計画

地盤工学会は、学会の行う自発的な公益活動を活性化させるために、平成 22 年 11 月 1 日に公益社団法人地盤工学会として登記した。平成 23 年度は、定款第 4 条（目的）「地盤工学の進歩及び地盤工学に関わる技術者の資質向上を図り、学術・科学技術および文化の振興と社会の発展に寄与することを目的とする。」に合致した公益事業を、これまで以上に展開してゆく。公益目的事業としては、公 1：公益出版事業、公 2：調査・研究事業、公 3：技術推進事業、公 4：表彰関連事業の 4 つに区分されており、会計体系もこれに対応する。平成 22 年度末に発生した東北地方太平洋沖地震について、2011 年会長特別委員会を設置したが、平成 23 年度は構成した調査団による災害調査を実施するとともに、その結果を踏まえて防災・減災に向けた提言を行う。公益法人化後の中長期ビジョンに示されている将来展望を踏まえ、事業は柔軟に変革する立場に立ち公益法人としての新たな事業展開の方向性を明確にする。特に、地盤工学の発展の歴史、人物史、そしてアカデミックロードマップの 3 部作を具体化する。また、会員数の増加策として、「会員データベース管理システム改善 WG」で学会全体の ICT システムを計画する。併せて、会員数の減少を食止めるための活動に加えて、女性・若手会員の入会を促進する活動を積極的に展開する。支部においては、若手会員獲得のために若手委員会の活動を開始し、若手と熟練技術者の交流を深め、若手の目線から支部の活性化の方策を具体化する（北陸支部）。ニューズレターの発行、メーリングリストによる行事案内の発信、ホームページの更新を通して、支部活動情報の発信を図る。会員数減少への対処の一環として一昨年より始めた若手交流会を引き続き開催し、学生会員への情報提供や交流の機会を設けるとともに、その他の方策について引き続き検討、企画を進める（関東支部）。九州支部中長期ビジョン検討委員会の提言を受けて、新規会員勧誘に向けた広報活動の推進に取り組む（九州支部）。

「市民とともに歩む地盤工学」の確かな方向性を早急に見出していく。さらに、公益法人に整合した本学会の健全なガバナンスの強化のために本部事務局の組織改革を行い、学会員と事務局職員が互いに力を合わせ企画・事業提案を行い、長期的に発展する組織とする。

公共事業費の大幅な削減が継続し、今年度も学会を運営する上で財務基盤の根幹をなす会費収入の減が想定される。このような社会情勢にあっても、持続性のある学会として存在していくためには、会員の総力を結集し、学会の諸活動についても健全な財務基盤の構築・維持していくことが求められる。学会は公益法人として二年目を迎えるが、一年間を通しての財務運営および財務管理は、実質的には初年度にあたる。公益事業毎の会計体系内での収支相償、公益事業費 50%以上の確保、遊休財産は公益事業費 1 年分以内に抑えるといった公益法人に要求されている事項について、顧問公認会計士や顧問税理士

法人の指導を得ながら、遵守し続けられるように今年度も財務面から支援していく。また、学会の財務会計処理に精通した本部職員の勇退に伴い、今年度は本部事務局の経理組織も新しい体制での運営となる。したがって、会計体系の習熟や会計スキルの向上を図り、お互い一致協力して円滑な運営が出来るように努める。併せて、学会の財務状況がわかりやすい書類を作成するとともに、支部についても円滑な運営が出来るように指導していく。

今年度において実施が計画される事業について、公益目的事業の事業区分毎に以下に示す。

1. 公益出版事業〔公1〕

会誌部：「地盤工学会誌」は、毎号の読者モニターからの意見を積極的に取り入れるなどして時宜にかなうテーマを選定し、幅広い層の会員に役立つ記事を読みやすく編集する。「地盤工学ジャーナル」は、調査・研究部の協力を得て「第55回地盤工学シンポジウム特集号」を発刊する。また、平成24年度のJ-STAGE3の本格運用にあわせて、電子投稿査読システムの導入、論文全文のXML化等の検討を含めたシステム移行の準備を進める。「SOILS AND FOUNDATIONS」では、オンラインジャーナル化を実現するよう努める。また、IS-Seoul 特集号を発刊する。

事業部：公益出版事業においては、従来の出版物に加えて、新しく地盤工学の学術や調査研究の成果を平易により広く役立つ内容のコンテンツの充実を図り、出版専門業者との連携による製本のコストダウンと販売の多角化により発売部数の増加を目指すことにより、より広範な対象ならびに分野に対して地盤工学に係る技術の普及を図る。

北陸支部：昨年度作成した防災パンフ「北陸地方の地震と防災」の有効利用について支部活性化委員会で検討を行うとともに、地域性を生かした新たな出版物の作成についても検討を行う。

関東支部：売切れとなった過年度発刊の図書については購入の要望に応じてオンデマンド出版により対処する。また、作成を進めてきた建築・土木系工業高校生向け小冊子の発行を予定している。

中国支部：地域の技術・研究の発展に資するように、中国支部論文報告集「地盤と建設」を発行する。

九州支部：九州地盤情報システム協議会において、「九州地盤情報データベース（第2版）」の年度中旬発刊を目指す。

2. 調査・研究事業〔公2〕

総務部：地震・豪雨・火山等による地盤災害に対する防災・減災に関して、市民、国・自治体、他学会等と連携する方策を具体化する。また、災害調査等を通して、原因の究明・復旧方法の提案・今後の防災方法のあり方等についてさらなる提言を行う。「市民とともに歩む地盤工学」の方向性を強く打ち出すために、市民はどのような地盤工学を求めているか、会員はどのような研究をしなければならないかを、学会において十分議論する。

調査・研究部：新規3テーマの研究委員会を設置し、継続の5テーマの研究委員会と合わせて、積極的な調査・研究活動を進めるとともに、ホームページ等を利用した委員会活動の広報に努める。また、調査・研究委員会活動のあり方について制度設計を含めた検討を実施する。研究発表会(神戸大会)では、大会テーマ:「市民と共に考える、地盤工学の新しい展望と防災」を掲げ、研究発表会を活性化するほか、市民参加企画を通して学会活動の広報に努める。地盤工学シンポジウムは、「地中構造物・抗土圧構造物」をテーマに開催し、地盤工学技術の発展に寄与する。情報関係では、図書室蔵書の整理、データベース化を進めるとともに、新たに整備した新電子図書室の広報に努める。地盤工学に関する種々の情報について、効率的な管理による会員への還元や市民への提供について検討する。

基準部：規格・基準の制定や見直し、基準書やマニュアルの編集、出版に継続して取り組む。室内試験関係では、平成21年度に整備したJISおよびJGSの保守に努めるとともに、2件の新規JGSの制定を進める。また、定期見直し時期にかかるJISの確認作業を行う。地盤調査関係では、前年度に引き続き「地盤調査の方法と解説の改訂版」発刊に向けて関連JIS及び基準について改正作業を進めるとともに、解説の執筆に取りかかる。また、整備した「受託型基準・マニュアル作成のための規程」をもとに、外部から要請を受け、基準書またはマニュアルの作成・出版に努める。ISO関係では、各TCにおける国内専門委員会の活動を進めるとともに、ISO活動における幹事国や議長国としての役割を担える体制作りを行い、地盤工学会基準のISO化を目指す。また、ISOの動向について会員への広報に努める。表記法関係では、決められた対応方針をもとに「地盤工学用語のJIS化」に向け、具体的な活動に取りかかる。

北海道支部：例年実施している技術報告会を2月に札幌で実施し、9月と1月に若手技術者を対象としたセミナーを2回、札幌で開催する。委員会活動では、会員からのニーズが高い「凍上対策工の調査・設計法に関する研究委員会」を新設する。また、2012年に開催されるIS-Hokkaido2012の準備を進める。さらに、支部ホームページの拡充を図り、広報活動を積極的に行う。地盤災害緊急対応委員会により、3学会合同で北海道開発局と災害協定を締結し、災害発生時における調査団の派遣など社会貢献を行う環境を整備する。

東北支部：本年度、地域会として発足した秋田地盤研究会の協力のもと地盤工学セミナーを秋田で開催する。また例年実施している講演会、地盤工学講座、地盤工学フォーラム、見学会等を実施し、幅広い技術者の技術研鑽と情報交流の場を提供し、支部活動の活性化ならびに新規会員の獲得に努める。また、「みちのくGIDAS」の運用を本格的に行うとともに、地盤データを収集・アップすることでコンテンツの充実化をはかる。第47回地盤工学研究発表会を八戸市で開催する予定を立てており、実行委員会を発足させ、必要な準備を行う。

北陸支部：研究発表会、シンポジウム、セミナーを、行政や他学会と共同して行うことを模索し、幅広

い活動を行うとともに、より一般市民に開かれた催し物にしていく。これまでの経験を生かし、市民向けの防災関連事業を重視し、地区自治体との災害協定の締結を目指し、社会貢献・学会 PR 活動を行う。また、IS-Kanazawa2012 の開催に向けた準備を行う。

関東支部：第 8 回関東支部発表会（Geo-kanto 2011）を開催するほか、各種講演会を企画、実施する。研究委員会活動においては、「関東地域における地盤情報の社会的・工学的活用法の検討委員会」、「江戸期以降の土木史跡の地盤工学的分析・評価に関する研究委員会」を今期中に新規開設するほか、興味・関心の高いテーマを募り、新規委員会の設立について検討する。次世代を担う若手を対象とした 6 回目のソイルストラクチャーコンテスト（前年度より「ソイルタワーコンテスト」を改称）を開催する。会員ならびに一般市民を対象として、公共事業の重要性、国民の生命と財産に対する安心・安全への貢献、地盤工学の重要性、面白さを理解してもらえる現場見学会、技術交流会や工法協会交流会等を開催する。また、災害調査協定など国の機関との協力関係を強固にし、貴重な業績を世に問うべく関東支部発表会などへ投稿しやすい環境づくりを推進する。このほか、産官学の立場を超えた交流や異業種間での意見交換を活発にすること、一般市民や幅広い年代層の学会員が参画できる場を増すことなどを念頭に、支部活動の活性化に繋がる取組みを推進する。

中部支部：中部地盤研究会、調査・設計・施工技術報告会、中部地盤工学シンポジウム、見学会、信州地盤環境委員会等の活動により地盤の研究、学会員へのサービス及び市民への啓蒙活動を支部活動として展開する。中部地盤研究会では、「最新名古屋地盤図」の研究を進め地盤情報のデータを更新し、会員向け講習会及び市民向けの講座を開催する。信州地盤環境委員会では、信州地域の技術者、研究者を対象に発表会及び講演会を行う。

関西支部：実技セミナー、シンポジウム、見学会、若手交流会等の各種行事を開催するとともに、小・中・高校生を対象とした出前講義を実施し、地盤工学会の認知度アップに努める。また、引き続き、和歌山・滋賀・福井の 3 地域の地盤研究会および、兵庫県南部地震を後世に伝承するための研究委員会、地下建設工事に於いてトラブルが発生しやすい地盤の特性とその対応に関する研究委員会を通じて活発な調査研究活動を実施する。加えて、本年度の第 46 回地盤工学研究発表会を神戸市で開催するため実行委員会と連携しながら大会テーマ「市民と共に考える、新しい地盤工学の展望と防災」に沿って準備を進める。

中国支部：各地域の研究成果を発表する「土質工学セミナー報告会」や土木学会中国支部と連携した「工事報告会」を開催するなど、会員のニーズに沿った事業を展開する。また、委託業務や平成 21 年 7 月山口県防府市で発生した土砂災害に関する研究委員会活動及び中国地方地盤情報データベース構築の委員会活動を行う。

四国支部：技術研究発表会のさらなる充実と各県単位で開催している地盤工学会の一層の発展をはかる。また、四国地域地盤問題研究委員会を地震地盤防災研究委員会に発展的に改組し、巨大地震災害に関わる地盤工学的研究を深める。さらに、地盤災害研究委員会を中心に地盤情報を活用した防災・地盤環境研究等、地域に根ざした活動を実施する。

九州支部：引き続き「地盤情報データベースの防災および地盤環境への活用」をテーマにした研究委員会の活動を行う。

3．技術推進事業〔公3〕

総務部：広報・IT関係の活動として、地盤工学およびその周辺領域における研究・技術情報や継続教育に関する情報を迅速かつ、わかりやすく提供するために、ホームページの更新やメールマガジン等の充実を図る。地盤工学・地盤技術者の役割を広く社会に認知・理解してもらう活動として、市民向けの情報発信の更なる活性化を図る。また、メディア懇談会を継続的に開催しマスコミへの情報発信を積極的に進めると共に、英文ホームページの充実などによる国際広報活動も行う。各種学会活動がITを活用して効率的に実行されるよう、学会内関連組織への技術的支援も行う。

企画部：公益法人化後の中長期ビジョンに基づいて作成したアクションプランについて、継続的に実施状況をモニタリングして着実な実行を図るとともに、学会の活性化に向けた議論を行なっていく。毎年行なっている委員会活動レビューシートのほかに、昨年度から検討している資格・認定制度とアカデミックロードマップに関する検討を実施する。特にアカデミックロードマップについては、準備委員会を立ち上げて具体的な作成方針及び内容を検討する。

会員・支部部：「本部支部活動活性化委員会」、「男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会」によって、学会活動の活性化を図ると共に、継続教育(CPD)、産官学連携支援を通じて、会員に便益を提供する。

国際部：国際地盤工学会との連携および各種国際交流活動の推進を継続しながら、国際地盤工学会のTC、ATCの活動を支援する。5月に第14回アジア地域会議に参加するとともに、第15回アジア地域会議の日本開催に向けた誘致に取り組む。7月に第4回日韓地盤工学ワークショップを共催するほか、8月にIS-Seoulの開催を支援する。このほか、二国間学術交流協定を発展させるとともに、今後予定されている国際会議等の開催準備支援を行う。

事業部：技術推進事業としての講習会事業においては、土木学会などの他関連団体の後援ならびに共催事業の促進を通じて受講者数の増加ならびに講習会費用の低廉化を図り、同時に出版物の販売を促進する。「コース制」ならびに「オンデマンド講習会」については、コンテンツの充実ならびに利便性の向上に努めて利用数の増加を促すことにより、より広範な対象ならびに分野に対して地盤工学に係る技術の

普及を図る。

北海道支部：例年実施している講習会を2回実施する。会員のニーズにあった事業テーマを積極的に実施・取り入れ、会員へのサービス向上と支部活動の活性化に努める。

東北支部：例年に引き続き講習会を開催するとともに、他学協会との協賛行事にも積極的に取り組むことで会員へのサービスの充実を図る。

北陸支部：例年実施している地盤調査講習会を、行政や企業の新人研修で利用してもらえるように広報の手法などを検討しながら、充実したものにさせる。

中部支部：「イブニングセミナー」では、技術者を対象とした実務に関する講習会を行う。出前講座(小学校理科授業)においては小学生を対象に地盤工学への興味・理解を深めるための授業を行うなどの活動により支部活動の活性化に努める。

関東支部：研究委員会活動と県グループ活動等とのタイアップによる講習会の開催、他学会とのシンポジウム共催など各地の官公庁・公的機関や地盤関連の各種法人・団体との連携を図り、成果の普及や学術振興の機会を幅広く設けた活動を行う。

また、特別会員、中学・高校生等を対象とした出前講座を実施し、会員等が抱える課題や関心などのニーズに即したサービスの提供を行う。

中部支部：「イブニングセミナー」では、技術者を対象とした実務に関する講習会を行う。出前講座(小学校理科授業)においては小学生を対象に地盤工学への興味・理解を深めるための授業を行うなどの活動により支部活動の活性化に努める。

関西支部：例年に引き続き各種講習会を開催し、会員サービスの充実を図る。

中国支部：毎年、各地域で実施している講習会を開催し、会員サービスのより一層の向上を目指す。また、中国地域の国際的研究交流の活動として「海外技術講習会」を開催する。

四国支部：地盤災害に関する海外調査、地盤の動的性質に関する講習会、地盤災害や施工現場の見学会、建物防災に関する学術講演会などの支部活動を活発化し、会員サービスの充実をはかる。

九州支部：基礎理論と実務の架橋を目指した講習会の開催を始め、地区活動や、他学会、協会との協賛行事等を全8地区で取り組んでいく。国際委員会では東アジアネットワークとの連携をすすめ、アジア地域会議開催の実現に向けて取り組む。

4．表彰関連事業〔公4〕

総務部：昨年度に設立した一般を対象とした地盤工学貢献賞の公募を引き続き行い、広く推薦してもらいやすい広報体制を提案する。また学会に長年にわたり多大な貢献をされた会員を名誉会員として適切に推薦できる体制を構築する。さらに、地盤工学会論文賞については、本年度も引き続き和文部門と英

文部門に分けて表彰する。

東北支部：例年どおり支部表彰を行う。支部表彰（技術的業績部門）は、地盤工学フォーラムにおいて応募者によるプレゼンテーションを実施することで業績内容を広く会員に公開する。

北陸支部：支部表彰委員会において、表彰項目を増やしたり、会員以外への表彰も検討するなどして、一層の活性化をはかる。

関東支部：支部発表会において優秀発表者を表彰するとともに、支部としての表彰制度のあり方について検討を進める。

中部支部：調査・設計・施工技術報告会で優秀技術賞、中部地盤工学シンポジウムで優秀論文賞を表彰する。

中国支部：例年どおり、「地盤と建設」論文賞、「地盤と建設」論文奨励賞、「土質工学セミナー」報告賞、技術賞の支部表彰を行う。

四国支部：平成 19 年度にスタートさせた「地盤工学会四国支部表彰制度」の一層の活性化をはかる。

九州支部：九州支部技術賞、優良学生賞の一層の活性化をはかる。

1. 公益出版事業【公1】

(1) 学会誌「地盤工学会誌」の発行

担当部	誌名	年発行回数	編集方針
【会誌部】	「地盤工学会誌」	12回(月刊)	特集：「土質・基礎」の学び方 土質工学と基礎構造物【4月号】/中国支部特集号【5月号】/地盤施工のプロジェクト管理【6月号】/資源の有効活用【7月号】/人と世代を結ぶ地盤環境工学【8月号】/土構造物,基礎構造物の維持管理【9月号】/第14回アジア地域会議【10月号】/地盤災害と復旧【11月号】/第46回地盤工学研究発表会【12月号】/水・食糧問題と地盤工学【1月号】/非開削トンネル技術の現状と今後【2月号】/自然災害予測とその活用【3月号】

(2) 公益出版(論文集・刊行物)

1) 「SOILS AND FOUNDATIONS」ならびに「地盤工学ジャーナル」

担当部	誌名	年発行回数	編集方針
【会誌部】	「SOILS AND FOUNDATIONS」	6回(隔月刊)	現場や設計に関連した調査や研究記事の掲載/IS-Seoul特集【8月号】
	「地盤工学ジャーナル」	4回(季刊)	実務と現場に直結した情報を速報性を確保して掲載(電子配信・邦文主体)/第55回地盤工学シンポジウム特集号【6月号】

2) 学術図書等(新刊)

担当部	出版期日	書名
【事業部】	23.6	地盤工学・実務シリーズ29 土の締固め(仮称)
	23.6	地盤工学・実務シリーズ30 山留めにおける創意・工夫(仮称)
	23.6	全国77都市の地盤と災害ハンドブック(仮称)
	23.9	地盤工学・実務シリーズ31 シールド工法(仮称)
	23.9	入門シリーズ38 地盤工学における性能設計(仮称)
【調査・研究部】	23.7	第46回地盤工学研究発表会発表論文集(DVD-ROM)
	23.7	第46回地盤工学研究発表会発表論文集
	23.10	第9回環境地盤工学シンポジウム発表論文集
	23.11	第56回地盤工学シンポジウム発表論文集
	23.11	斜面・のり面の維持管理と防災マネジメントに関するシンポジウム発表論文集
	24.3	シンポジウム「土質試験結果の精度・バラツキを考える」(仮称)発表論文集
計 11 点		

2. 調査研究・基準事業【公2】

(1) 研究発表会、シンポジウム、講演会等

担当部	開催期日	名称	開催場所
【事業部】	23.6	切土・盛土および斜面の自然災害 災害事例と復旧および対策講演会	東京
	23.8	「治水利水施設の自然災害に対する減災と対策」講演会	〃
	未定	地震と豪雨・洪水による地盤災害を防ぐために - 地盤工学からの提言 - 講演会	〃
【調査・研究部】	23.7.5-7	第46回地盤工学研究発表会	神戸
	23.10.6-7	第9回環境地盤工学シンポジウム	京都
	23.11	第56回地盤工学シンポジウム	東京
	23.11	斜面・のり面の維持管理と防災マネジメントに関するシンポジウム	〃
	24.3	シンポジウム「土質試験結果の精度・バラツキを考える」(仮称)	大阪
計 8 回			

(2) 見学会等(会員および一般市民向け活動)

担当部	開催期日	名称	開催場所
		未定	

(3) 各種研究委員会, 災害調査委員会

1) 研究・調査委員会等

担当部	委員会名	備考
【調査・研究部】	〔研究委員会〕	
	情報通信技術 (ICT技術) の適用による地盤工学の高度化に関する研究委員会	
	地盤材料試験結果の精度の分析と表記方法についての研究委員会	
	老朽化した埋設カルバートの復旧に関する研究委員会	
	地球温暖化が地盤環境に及ぼす影響と対策に関する研究委員会	
	大ひずみ領域における地震応答解析のための土の繰返しせん断特性に関する研究委員会	
	21世紀の新しい地盤環境問題の解決方策に関する研究委員会	新設
	斜面・のり面の劣化モデルとLCC評価による斜面防災対策に関する研究委員会	新設
	全国電子地盤図の作成と利用に関する研究委員会	新設
計 8 件		

(4) 試験法・調査法の基準制定, ISOへの対応

担当部	基準名等	備考
【基準部】	〔新規制定地盤工学会基準〕	
	ベンダーエレメント法による土のせん断波速度測定方法	
	岩石の繰返し強度試験方法 (仮称)	
	〔ISO〕	
	ISO/TC182 (Geotechnics, 地盤工学), TC190 (Soil quality, 地盤環境), TC221 (Geosynthetics, ジオシンセティックス) における制定と見直し (改正、廃止、確認等) に関する投票および提案	
	ISO/TC190において日本主導で整備した「地盤環境向けスクリーニング方法一般に関するガイドライン」に関する新規ISO規格案	

(5) 受託研究・技術指導

担当部	委員会名	備考
【調査・研究部】	〔受託研究委員会〕	
	横浜環状北線の地盤変動監視に関する調査委員会	
計 1 件		

3. 技術推進事業 (公3)

(1) 継続教育 (講習会, system構築・記録管理・証明)

1) 講習会の開催

担当部	開催期日	名称	開催場所
【事業部】	23.4	近接施工法講習会	東京
	23.5	地盤環境振動対策工法講習会	〃
	23.5	地盤・耐震工学入門講習会	〃
	23.5	地盤の連続体力学入門講習会	〃
	23.5	土の締め固めに関する最新技術講習会	〃
	23.6	はじめて学ぶFEM講習会	〃
	23.6	土質基礎に関する技術-技術士受験のポイント-講習会	〃
	23.6	建設環境に関する技術-技術士受験のポイント-講習会	〃
	23.6	「地盤工学者のための舗装入門 -基礎から応用まで-」講習会	〃
	23.7	やさしい補強土講習会	〃
	23.7	わかりやすい構造物基礎講習会	〃
	23.7	地盤工学における性能設計入門講習会	〃
	23.7	山留めにおける創意・工夫講習会 (仮題)	〃
	23.7	シールド工法講習会 (仮題)	〃
	23.8	第1回 実務者のための土と基礎の設計計算演習講習会	〃
	23.8	事業継続を可能とするための既存構造物周囲の地盤改良 (補強) 工法講習会	〃

担当部	開催期日	名 称	開催場所
【事業部】	23.8	第2回 実務者のための土と基礎の設計計算演習講習会	〃
	23.9	わかって使うFEM講習会	〃
	23.9	はじめて学ぶ土壌・地下水汚染講習会	〃
	23.9	海外工事と国際協力講習会	〃
	23.10	地盤の動的解析－基礎理論から応用まで－講習会	〃
	23.10	軟弱地盤における地盤変形の実際と解析講習会	〃
	23.10	地盤の応答解析入門講習会	〃
	23.10	地盤に関する解析技術（粒子法）講習会	〃
	23.10	模型実験入門講習会	〃
	23.11	既設構造物直下の液状化対策工法講習会	〃
	23.11	施工・維持管理に配慮した基礎構造物の計画講習会	〃
	23.12	土を固める原理と応用講習会	〃
	24.1	基礎構造物の信頼性設計講習会	〃
	24.1	特殊土（関東ローム，有機質土，しらす，まさ土）の基本性質講習会	〃
	24.1	「トラブルから何を学んだか」講習会	〃
	24.2	宅地地盤の耐震技術講習会	〃
24.2	地盤災害の復旧事例 講習会	〃	
計 33 回			

2) 継続教育システム構築、記録管理、証明

(2) 国際交流，国際的学術・技術交流

1) 国際会議・シンポジウム

担当部	開催期日	活 動 項 目	開催場所
【国際部】	23.5.23-27	国際地盤工学会第14回アジア地域会議	香港
	23.7.6-7	第4回日韓地盤工学ワークショップ	神戸
計 2 件			

2) IS等の企画・開催

担当部	開催期日	名 称	開催場所
【国際部】	23.8.31-9.3	IS-Seoul (2011)	ソウル
	24.8.27-29	第2回交通地盤工学に関する国際会議（IS-Hokkaido 2012）	札幌市
	24.9.18-20	第9回波動理論の杭への応用に関する国際会議（IS-Kanazawa 2012）	金沢市
計 3 件			

3) 国際関係委員会等

担当部	委 員 会 名	備 考
【国際部】	Transportation Geotechnics 国内委員会 (TC202)	
	Laboratory Stress Strain and Strength Characterization of Geomaterials 国内委員会 (TC101)	
	Geomechanics of the Particulate Media 国内委員会 (TC105)	
	Geotechnology for Natural Hazards 国内委員会 (ATC3)	
	Groundwater Environment and Quality Management 国内委員会 (ATC8)	
	Urban Geo-informatics 国内委員会 (ATC10)	
	Coastal and River Disaster Mitigation and Rehabilitation 国内委員会 (TC303)	
	Geoengineering for Conservation of Cultural Heritage and Historical Sites 国内委員会 (ATC19)	
計 8 件		

4. 表彰関連事業〔公4〕

(1) 表彰

- 1) 学会賞の募集、審査、表彰
- 2) 名誉会員の推挙
- 3) 功労章の授与
- 4) 特別会員表彰、事業企画賞、「地盤工学会誌」優秀賞、地盤工学研究発表会優秀論文発表者賞等の授与
- 5) 支部表彰ほか

5. 運営関係委員会等

担当部	委員会等	備考
【総務部】	第53回通常総会 理事会 正副会長会議 選挙管理委員会 表彰委員会 災害連絡会議 総務部会 広報委員会	
【企画部】	企画部会 アカデミック・ロードマップ準備委員会	新設
【会員・支部部】	会員・支部部会 本部支部懇談会 本部支部連絡協議会 継続教育システム委員会 産官学連携支援委員会 男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会 本部支部活動活性化委員会 会員データベース管理システム改善WG 支部活動情報の収集配信WG	
【国際部】	国際部会 国際委員会	
【会誌部】	会誌部会 「地盤工学会誌」編集委員会 「地盤工学会論文報告集」編集委員会 「地盤工学ジャーナル」編集委員会	
【事業部】	事業部会 出版企画委員会 技術普及委員会 販売促進・企画WG 地盤工学・実務シリーズ29 土の締固め編集委員会 地盤工学・実務シリーズ30 山留めにおける創意・工夫編集委員会 地盤工学・実務シリーズ31 シールド工法編集委員会 地盤工学・実務シリーズ32 河川構造物の調査・設計から施工まで編集委員会 ジオテクノート16 現場における地盤調査の基本～ジオエンジニア養成塾編集委員会 入門シリーズ38 地盤工学における性能設計入門編集委員会 都市の地盤編集委員会 新指針に対応した 第11版土と基礎の設計計算演習編集委員会	

6. 支部活動（支部事業計画）

(事業区分)		【北海道支部】	【東北支部】
〔共通〕	1. 総会、役員会等 総会 評議員会 幹事会等	4/26 2回 10回	4/28 2回(4/28、2月) 幹事会 2回 常任幹事会 3回(5月、9月、2月)
〔共通〕 〔公2〕 運 研 営 究	2. 委員会の活動	支部賞選考委員会 (2月) 凍上対策工の調査・設計法に関する研究委員会 地盤災害緊急対応委員会	地盤研究委員会 (随時) 東北地域地盤災害研究委員会 (随時) 表彰委員会 (2月) 広報委員会 (随時) 支部活動活性化委員会(新設) (随時) 第47回地盤工学研究発表会実行委員会 (随時) とうほく地盤情報システム運営協議会(協力) (随時)
〔公2〕	3. 研究発表会、シンポジウム、報告会等	技術報告会 札幌市(2月)	地盤工学セミナー 秋田(5月) 地盤工学講座 (6回・6～12月) 地盤工学フォーラム (1月) ワークショップ (1月)
〔公3〕 〔公2〕 講 講 習 演 会 会	4. 講演会、講習会等	4.1 講演会 土木学会北海道支部と共催 札幌市(時期未定) 4.2 映画会 土木学会北海道支部と共催 札幌市(時期未定) 4.3 講習会 2回(時期未定) 4.4 セミナー 2回(時期未定)	映画会 4/28 見学会 1回 (時期未定) 講習会 1回 (時期未定) 講演会 1回 (時期未定) 出前講義 (随時)
〔公3〕	5. 国際活動	IS-Hokkaido2012開催準備 IS-Hokkaido2012実行委員会	
〔公1〕	6. 新刊発行予定	技術報告集第52号	
〔公4〕	7. 表彰	支部賞	支部賞
〔共通〕	8. その他	広報活動 北海道支部ホームページの管理 会員へのサービスの充実 地盤工学会北海道支部のPRに関する各種活動	広報活動 ・支部HPの更新(随時) ・G-CPD普及活動(随時)

(事業区分)		【関東支部】	
(共通)	1. 総会、役員会等	総会 評議員会 幹事会	支部総会(4/26) 2回(11月、2月) 各グループ毎に適宜実施
(共通) 運研究 管関・調 等査	2. 委員会の活動	運営委員会 防災・減災のための地盤構造物の設計・施工法に関する研究委員会 関東地域の火山由来地盤の災害事例研究と地域特性に関する研究委員会 群杭挙動の実証的研究委員会 地下水位の回復にともなう広域地盤隆起の問題とその地中施設への影響に関する研究委員会 薬液注入工法を用いた地盤改良技術の今後の展開に関する調査・検討会 地盤改良材を中心とした廃石膏ボードの再資源化に関する研究委員会 関東地域における地盤情報の社会的・工学的活用法の検討委員会 江戸期以降の土木史跡の地盤工学的分析・評価に関する研究委員会 事業継続を可能とするための既存構造物周囲の地盤改良(補強)工法に関する研究委員会(成果普及活動) 造成宅地の耐震調査・検討・対策方法に関する事例検討委員会(成果普及活動) 地盤工学におけるリスクマネジメントに関する研究委員会(成果普及活動)	6回 適宜 適宜 適宜 適宜 適宜 適宜 適宜 適宜 適宜 適宜
(公2)	3. 研究発表会、シンポジウム、報告会等	Geo-Kanto2010(支部発表会) 事業実施機関との技術交流会	会場、時期未定 東京他(適宜)
(公2) 講講習 演會	4. 講演会、講習会等	4.1 講演会 アフター5談話会 特別講演会 4.2 講習会 講習会 新技術・新工法の評価や普及方策に関する技術相談 4.3 見学会 工事現場・研究所等見学会 4.4 コンテスト 第6回ソイルストラクチャーコンテスト 4.5 その他 東京地区、支部間連携における行事企画(講演会、講習会など) 事業実施機関等の特別会員に対する技術交流(意見交換を含む) 学校および特別会員向け出張講座 工法協会との交流会	東京(適宜) 東京(適宜) 東京、栃木、群馬、千葉、埼玉、神奈川(適宜) 東京(適宜) 東京、茨城、栃木、群馬、千葉、埼玉、神奈川(適宜) 会場、時期未定 場所：未定、時期：未定 東京(適宜) 随時 東京(1回)
(公3)	5. 国際活動	国際講演会	東京(適宜)
(公1)	6. 新刊発行予定	-	
(公4)	7. 表彰	支部発表会優秀発表者賞の表彰	時期未定
(共通)	8. その他	Newsletter発行 関東支部ホームページ更新、メーリングリストによる行事案内等の発信 若手会員や特別会員拡充に関する検討 第3回若手交流会 国土交通省関東地方整備局と締結した「災害調査協定」の運用・整備	6、9、12、3月 随時 時期未定

(事業区分)		【北陸支部】	【中部支部】
(共通)	1. 総会、役員会等 総会 評議員会 幹事会等	4/28 (支部総会) 2回 (11月、2月) 3回 (石川・富山・新潟地区、各年3回開催)	4/21 3回 (4/21、9月、2月) 5回 (4/21、7月、9月、12月、1月)
(共通2) 運営関係調査	2. 委員会の活動	北陸支部表彰委員会 北陸支部活性化委員会 災害協定締結準備委員会 若手委員会 Is-Kanazawa準備委員会	企画委員会 運営委員会 地盤工学に関するセミナー (第1部会) 中部地盤研究会 (第2部会) 中部総合地震防災システム研究委員会 (第3部会) 調査・設計・施工技術報告会 (第4部会) 中部地盤工学シンポジウム (第5部会) 見学会 (第6部会) 信州地盤環境委員会 (第7部会) 若手技術者の会 (第8部会) 中部支部災害緊急調査団 中部支部表彰委員会
(公2)	3. 研究発表会、シンポジウム、報告会等	第64回土質工学最新情報コロキアム 金沢地区 (10月) 第17回地盤工学に関わる実務者報告会 新潟地区 (1月) 第65回土質工学最新情報コロキアム 富山地区 (2月)	第20回調査・設計・施工技術報告会 (第4部会) (6/10) 第23回中部地盤工学シンポジウム (第5部会) (8/5)
(公3) 講習会	4. 講演会、講習会等	講演会 2回程度 ジオテクセミナー 随時開催 ジオテクフォーラム 2回程度 見学会 3回程度	講演会・映画会 (4/21) 出前講義 (第1部会) (随時開催) 地盤力学・工学講習会 (第1部会) (6回開催) 講演会 (第8部会) (時期未定) 若手技術者交流会 (第8部会) (時期未定) 市民見学会 (第6部会) (時期未定) ジオテクセミナー (第7部会) (時期未定) 信州地盤環境委員会見学会 (第7部会) (時期未定) 信州地盤環境委員会講演会 (第7部会) (時期未定) 地盤調査ポーリング作業～室内土質試験見学会 (第1部会) (5/20) 週末集中講座 (第1部会) (5～6月 2回開催) 濃尾地盤関連講習会 (第2部会) (時期未定)
(公3)	5. 国際活動		
(公1)	6. 新刊発行予定		
(公4)	7. 表彰	地盤工学会北陸支部賞	中部支部賞 (論文賞, 技術賞, 功績賞)
(共通)	8. その他		

(事業区分)		【関西支部】	
(共通)	1. 総会、 役員会等	総会 評議員会 幹事会 顧問会 合同委員会 支部活性化委員会	4/19 年間3回 年間6回 年間1回 年間2回 適宜
(共通2) 運研究 関・係 調等 査	2. 委員会の活動	地盤工学広報企画委員会 福井地域地盤研究会 和歌山地域地盤研究会 滋賀地域地盤研究会 兵庫県南部地震を後世に伝承するための研究委員会 地下建設工事においてトラブルが発生しやすい 地盤の特性とその対応技術に関する研究委員会 表彰委員会	年間8回 年間2回(講習会と講演会の合計) 年間23回(講演会、見学会の合計) 年間5回(講演会、見学会、勉強会の合計) 適宜 適宜 委員会1回、メール審議2回、選考会・ヒアリング1回
(公2)	3. シンポジウム、 報告会等	第53回実技セミナー 地盤の環境・計測技術に関するシンポジウム 平成23年度施工技術報告会	(9月) (11月) 3学協会共催(1月)
(公32) 講 演 会	4. 講演会、 講習会等	4.1 講演会 「総会時特別講演会」 演題「22世紀を視野に入れた地盤工学の役割」 「市民特別講演会」 4.2 講習会 「土質・基礎に関する技術講習会」講習会1 「高品質盛土を保证する施工管理技術に関する講習会」講習会2 「宅地造成に関する講習会」講習会3 4.3 見学会 「第1回 見学会」 「第2回 見学会」 「ふるさと地盤診断ウォーク」 「工業高校・高専対象見学会」 4.4 その他 「出前授業」 「第46回研究発表会市民向けイベント」4件	(4/19) 地盤工学広報企画委員会主催(1月) (6月) (7月) (未定) (未定) (未定) 地盤工学広報企画委員会主催(10・11月) 地盤工学広報企画委員会主催(随時開催) 地盤工学広報企画委員会主催(随時開催) 第46回研究発表会市民向けイベント(7/5-7)
(公2)	5. 若手交流会	「第11回若手交流会」 「第12回若手交流会」	(未定) (未定)
(公4)	6. 表彰	関西支部賞	メール審議2回、ヒアリング1回
(共通)	7. その他	「関西支部ホームページ更新」 「国土交通省近畿地方整備局と締結した「災害調査協定」の運用・整備」 「会員へのサービスの充実」	随時

(事業区分)		【中国支部】	【四国支部】
(共通)	1. 総会、役員会等 総会 評議員会 幹事会等	4/22 4/6、2月 4/22、10月、2月、地域幹事会随時	4/26 高松市 4/26、2月 その他必要に応じて開催 3回程度 高松市
(共通) (公2) 運研究 営関・調 査等	2. 委員会の活動	論文報告集(地盤と建設)編集委員会 国際委員会 表彰委員会 平成21年7月21日豪雨による山口県防府地区の土砂災害に関する調査研究委員会 土用ダムの堤体の安全性点検委員会 地盤情報データベース委員会	地盤地震防災研究委員会 表彰委員会
(公2)	3. 研究発表会、シンポジウム、報告会等	工事報告会 *土木学会と共催 岡山地域(10月頃)	技術研究発表会 小豆島(11/11~12) 第30回高知県地盤工学研究会 高知市(6月) 第11回発表会 高知市(11月) 地盤と環境に関するシンポジウム 徳島市(8月) 四国の地盤災害・地盤環境に関するシンポジウム 松山市(12月)
(公3) (公2) 講講 習演 会	4. 講演会、講習会等	土質力学講座 広島市(6月頃) 講演会 岡山市(8月頃) 講演会 広島市(10月頃) 土質工学セミナー報告会 松江市(7/15) 講習会 島根地域(9月頃) 講習会 宇部市(9月頃) 講習会 岡山市(11月頃) 講習会 周南市(11月頃) 講習会 鳥取市(11月頃)	講習会 高松市(12月) 見学会 小豆島(11月12日) 学術講演会:土木学会との共催 高知市(未定) 講演会 徳島市(2回) 講演会 松山市(2回) 学術講演会 高松市(2回) 土質地質調査業務等業務の総合評価方式の入札について-技術提案書の作成について- 高知市(未定)
(公3)	5. 国際活動	特別講演会 *国際委員会主催 (詳細未定) 海外技術情報講習会 *国際委員会主催 広島市(10月頃) 国際活動支援事業 (詳細未定)	海外調査および国際セミナー・報告会(詳細未定)
(公1)	6. 新刊発行予定	論文報告集「地盤と建設」<第29巻第1号>	
(公4)	7. 表彰	土質工学セミナー報告賞 「地盤と建設」論文賞 技術賞	技術研究発表会最優秀発表賞 四国支部賞
(共通)	8. その他		

(事業区分)		【九州支部】	
(共通)	1. 総会、役員会等	総会 評議員会 委員会等 顧問会	福岡市(4月) 10月、2月 20回程度 2月
(共通) (公2) 運研究 営関・調 開係査	2. 委員会の活動	総務企画委員会 事業推進委員会 広報委員会 国際委員会 研究委員会 表彰委員会 九州地盤情報システム協議会	
(公2)	3. 研究発表会、シンポジウム、報告会等	沖縄地盤工学研究発表会	沖縄(11月中旬)
(公2) (公3) 講講習 演演 会会	4. 講演会、講習会等	総会時特別講演会 「技術士養成塾」全4回 講習会「もう一度基礎から学ぼう土質力学」全5回 改訂版「地盤材料試験の方法と解説」 改訂版「地盤材料試験の方法と解説」 特別講演会 各地区勉強会・講習会等多数 ・北九州地盤工学研究会 ・定例勉強会「ジオラボ」の開催 ・定例「土の勉強会」の開催 ・地盤工学に関する勉強会または講習会2回 ・勉強会の開催 ・ワークショップの開催 ・技術講演会の開催 ・講演会の開催 見学会	福岡市(4月) 福岡市(6/11,6/25,7/9,7/23) 福岡市(8/19,9/16,10/14,11/18,12/16) 福岡市 福岡県以外 福岡市(2月) 九州各地区 北九州 長崎 鹿児島 佐賀(9月・3月) 熊本・宮崎 熊本 大分(10月) 宮崎 長崎・鹿児島
(公3)	5. 国際活動		
(公1)	6. 新刊発行予定	九州地盤情報データベース(第2版)	
(公4)	7. 表彰	平成23年度九州支部技術賞(団体の部)の募集を行い、審査のうえ表彰する 平成23年度九州支部優良学生賞を審査のうえ表彰する	
(共通)	8. その他		